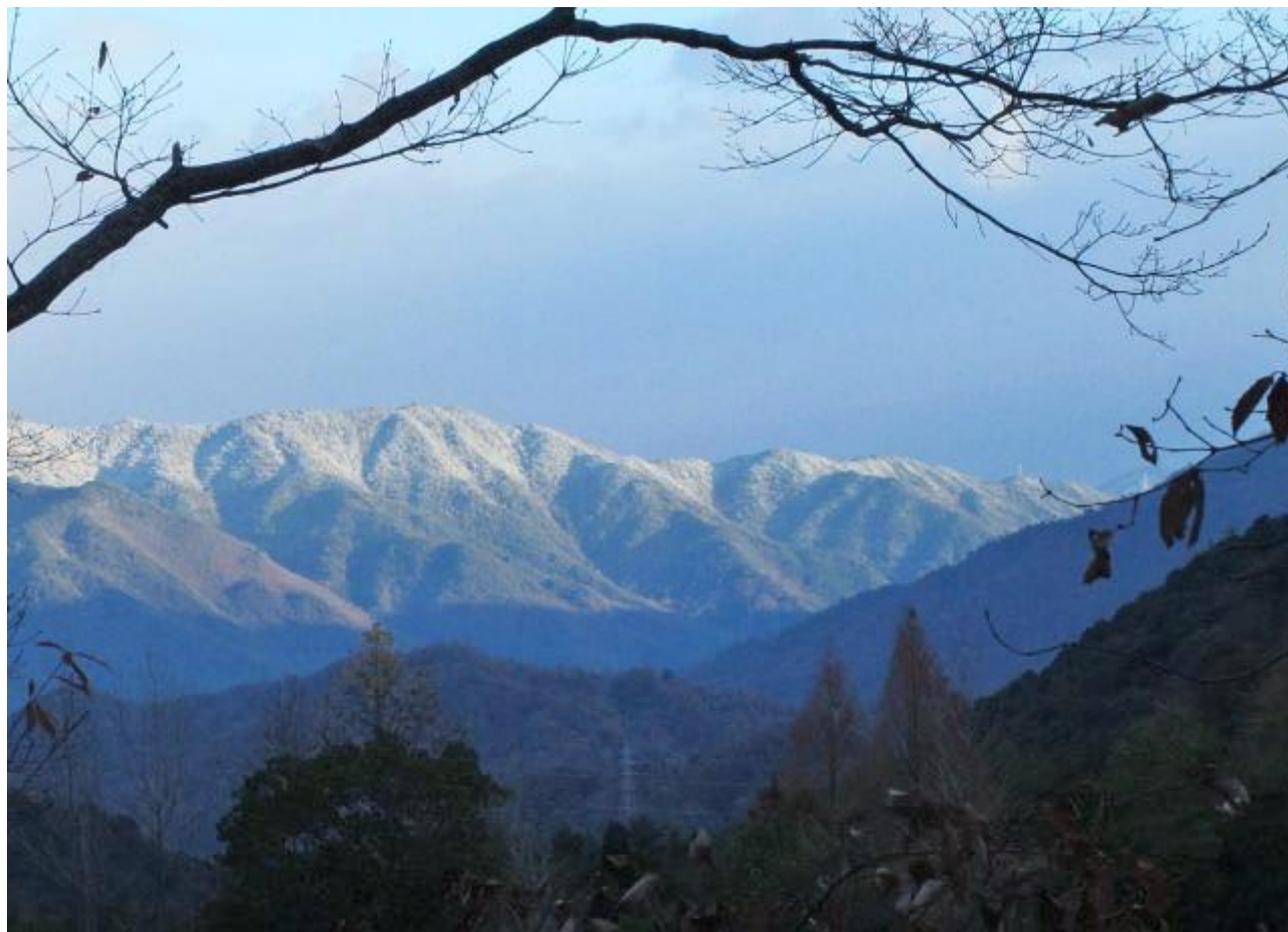


緑化だより

No.102 平成27年1・2月合併号



白木山眺望

- 緑化センターの希少な樹木(10)
- 野鳥の世界(イスカ)
- 春の七草
- 研修会のご案内
- お知らせ・ご案内

本年もよろしくお願ひいたします。

新年は、1月4日からの開園となります。



生き物いっぱい 自然いっぱい

広島県緑化センター・広島県立広島緑化植物公園

〒732-0036 広島市東区福田町 166-2

TEL 082-899-2811 FAX 082-899-2843 URL

<http://ryokka-c.jp> E-mail hiroshima@ryokka-c.jp

緑化センターの希少な樹木

No.10 ソシンロウバイとツバキ (秋の山)

ソシンロウバイは冬に咲く数少ない花の一つです。太陽の光で透き通るような形と色は、まるでろう細工のようで和名の由来になっています。花は中心部が暗紫色になるロウバイと異なり、花被片すべてが黄色です。花の直径は2.5~3cmで、ロウバイ(約2cm)より大きいです。すがすがしい香りがあり、正月花に使われます。管理事務所前にあります。



ソシンロウバイ

緑化センター内のツバキ園には約100品種のツバキが植栽されていますが、その中でも早咲きで10月頃から春まで咲き続ける「秋の山」を紹介します。花卉は白地に紅色の縦の紋が入り一重(6枚)です。ツバキの場合、一重とは花卉が8枚以内のものを指します。花形は筒咲き~ラップ咲きで、雄しべの形は“筒しべ”と呼ばれる筒のような形です。花のサイズは小輪です。「秋の山」は白地に紅色の縦紋が本来のものですが、しばしば白と紅の単色花をつけ、まれに白覆輪花(紅色の花弁の周辺部が白くなったもの)を咲かせることもあります。(川上)



ツバキ“秋の山”

野鳥の世界

イスカ

イスカは、冬の渡り鳥として、時々広島の上にも来ることがあります。緑化センターへも昨年の冬に飛来しましたが長くは居つきませんでした。

大きさは、ほぼホオジロと同じで、体色は雄が赤褐色と目につきやすいのに比べ、雌は地味なオリーブ色で別の鳥のように見えます。その名前の由来は“行き過ぎる”からきており、湾曲した大きなクチバシは先端でくい違っていています。群れで生活をしながらマツ、ヤシヤブシ、ハンノキなどの実を採食し、好物の実を見つけると、力強い大きなクチバシでその実をこじ開け、千切るように引き離したり、体を逆さまにしたまま採食します。



イスカ(写真提供:児玉氏)

このほか、赤い鳥ではベニマシコ、ハギマシコが飛来していますが、年々個体数が減少しています。餌になる木の実、草の実のでき具合が年によって異なるのでしょうか。また、サハリンからアムール川中流域で繁殖するイスカの仲間も世界的な

異常気象の影響を受けているようです。今シーズンも11月初め頃から次々と冬鳥たちが姿を見せてくれていますが、少ないのが心配です。(吉見)

春の七草

日本には一月七日に七草粥を頂く風習があります。この日を七草の日とか若菜の節(せち)などと言います。

中国では、元旦から八日までの各日に、鶏、狗、羊、豚(猪)、牛、馬、人、穀を当て、その日に当たるものを大切に作る風習がありました。一月七日が人の日に当たるため「人日の日」と定め、若菜を集めて羹(アツモノ)にして食べると年中無病でいることが出来るとされていました。大陸文化が伝来した600年代にはこの風習が日本にも伝えられたと思われ、日本でも若草を粥にして頂いていたようです。

百人一首に載る「君が為春の野に出でて若菜摘む、吾が衣でに雪は降りつつ」は第五十八代光孝天皇(830~887)が詠まれたもので、「古今集」に見えます。左大臣四辻善成(1326~1402)著の源氏物語の注釈書に「芹、なずな、ごぎょう、はこべら、仏の座、スズナ、スズシロ これぞ七草」とあるところから、現在の七草に定着しました。四辻善成の歌とする書物もありますが、七草を紹介しただけとする書も見えます。この点は、700年代に山上憶良が詠った秋の七草と異なり作者が明確ではありません。

春の七草はいずれも薬効があり、これを入れた粥を食べることで、正月に弱った胃をいたわると言われています。

地方によれば亭主が七草粥を作り、奥さんの労をいたわる風習もあります。

一方七草は七種とも書き、「豊芦原の瑞穂の國」日本では五穀(米、麦、粟、稗、黍)に豆類(大豆、小豆など)を炊き込んで七種粥としたとあります。これが1月14・15日の小正月を祝う行事となり、この日はあずき粥を頂きます。穀物粥や古来からの若菜を入れる粥などが混然として今日の七草粥が定着したようです。(正本)



七草粥



春の七草



五穀のうち米・麦・黍と大豆・小豆

研修会のご案内

- 1月 7日(水) 『春の七草教室』 10:00~12:00 学習室 集合
体に良い七草粥を知り、七草粥を試食しよう。 講師：緑化センター職員
※ 要予約(30名)、(無料) 正本 良忠
- 2月 22日(日) 『ジャンボ椎茸植菌教室』 10:00~12:00 学習室 集合
植菌体験。ほだ木は持ち帰り、家庭で栽培できます。 講師：日本きのこセンター三次支所長
※ 要予約(30名) 材料費 700円 影井 和男
1月4日より受付
- 3月 17日(火) 『3月の自然探勝』 10:00~12:00 管理事務所前 集合
早春の森を観察しよう。 講師：NHK広島文化センター
自由参加 (無料) アシスタント
上村 恭子
- 3月 21日(土) 『わかりやすい
天気図の見方』 10:00~12:00 学習室 集合
天気図を見るのが楽しくなります。 講師：NHK広島 気象キャスター
自由参加 (無料) 伊藤 麻衣
- 3月 28日(土) 『接木教室』 10:00~12:00 学習室 集合
接木の講習と実技。 講師：NPO法人 樹木医ひろしま
※ 要予約 材料費 500円 ナイフ持参 理事長 溝口 幸平太
2月1日より受付
- 3月 29日(日) 『早春の
バードウォッチング』 10:00~12:00 管理事務所前 集合
冬越しした野鳥と渡りを観察します。 講師：日本野鳥保護連盟 会員
自由参加 (無料) 双眼鏡持参 吉見 良一

♪☆ご案内・お知らせ☆♪

◎ 展示会のご案内

(展示場所:レストハウス)

・水引手作り作品展

~1月18日(日)

・緑化センター 写真コンクール

応募作品展

~1月28日(水)

・木彫り「あすなろ会」作品展

1月21日(水)~3月15日(日)

・緑化ポスター原画コンクール

入賞作品展

2月 1日(日)~3月 8日(日)



水引 手作り作品展より



過去の木彫り「あすなろ会」作品展より

お知らせ

園内は凍結していることがあります。

気をつけてご来園ください。